

調理科・生活教養科・音楽科 イタリア海外研修旅行

2024年2月実施予定

1. 期 日

令和2年2月3日（月）～9日（日）7日間

調理科・生活教養科・音楽科（43名）

2. 目 的

調理科・生活教養科・音楽科では、それぞれに専門的な学習をしています。この研修旅行は、イタリアで料理学院・ファッション学校・音楽学校視察を研修の柱とした、本校オリジナルの体験学習プログラムです。生徒は国際的な視野を広げ、イタリアの伝統や文化の神髄を学ぶよい機会となりました。

3. 内 容

【2月3日（月）】午前：羽田空港へ
午後：イタリアへ出発

12：45 羽田空港よりLH715便出発（ミュンヘンへ）

16：45 ミュンヘン到着

乗り継ぎ

18：35 LH1862便出発（ミラノへ）

17：50 ミラノ（マルペンサ空港）到着

21：30 バスでホテルに到着

ホテル：Starhotels Ritz（スターホテル リッツ）

22：00 ホテルのレストランにて夕食



〈ディナー〉 Starhotels Ritz

パスタはモチリ食感で歯ごたえがあり、ローストポークもカポナータの野菜と味がよく絡み合い、とてもおいしく頂きました。



フジリ・ウィズ・
ズッキーニ・ベーコン



ローストポーク・ウィズ・
カポナータスタイル

【2月4日（火）】午前：ミラノ 各科ごとの研修 午後：ミラノ市内観光

〈朝食〉Starhotels Ritz

ホテルでの朝食は毎日ビュッフェスタイル。野菜もたっぷりで美味しく、朝からたくさんいただきました。



〈午前〉ミラノ 各科で研修

調理科「ミラノ ETALY SMERALDO ガイディングツアー」

イタリーのコンセプトは「高品質な食文化を全ての人に」。日本で見たことのない野菜や調味料、パスタなどの厳選された食材がとてもきれいに並べられ、見ているだけでも楽しくなる場所でした。この日は、私たちのためにモッツアレラチーズの作り方を実演・試食をさせていただき、その品質の高さを実感しました。



生活教養科「ミラノ IED ヨーロッパデザイン学校訪問」

プラダなどでもデザイナーを務め、現在は自分のブランドも持っている、ヴィンセンツォ先生からファッションの歴史と変遷のレッスンを受けました。ドレスの時代をシャネルが終わらせ、現在に至るファッションの流れの話はとても興味深かったです。



音楽科「スカラ座ガイドングツアー」

音楽科は、初代の宮廷劇場以来の伝統を持つイタリアオペラ界最高峰といわれるスカラ座の見学です。赤で統一された客席や豪華なボックス席やオーケストラピットの中の見学、また一般開放されていない舞台袖の特殊な舞台セット方法などもレクチャーしていただき、とても素晴らしい経験をすることができました。



〈ランチ〉Ristorante ControVento Enoteca del Gusto

昼食はボンゴレ風味のスパゲッティと赤魚のムニエルトマトソースがけをいただきました。スパゲッティはニンニク風味たっぷりで食欲を大いにそそられました。



スパゲッティ・ウィズ・クラム



レッドフィッシュ フィレット・
メディティレーニアスタイル

〈午 後〉ミラノ市内観光（「最後の晚餐」、ドウオモ、スカラ座、ガッレリア）

プレミアムチケットと言われている、レオナルド・ダ・ヴィンチ最高傑作の「最後の晚餐」を鑑賞。見るもの全てが歴史と美しさをまとい、イタリア初めての市内観光は感動の連続でした。



サンタ・マリア・デッレ・グラッツェ教会「最後の晚餐」



スカラ座



ドゥオモ

ガッレリア

〈ディナー〉 Terraferma

夕食のミラノ風リゾットは、きれいな黄金色が食欲をそそりました。またミラノ風カツレツは、自分の顔ぐらいの大きさのあるカツレツで、とてもジューシーでおいしかったです。



リゾット・アッラ・ミラーゼ

コトレッタ・アッラ・ミラーゼ

**【2月5日（水）】午前：ミラノからフィレンツェへ移動
午後：フィレンツェ市内観光**

〈午 前〉ミラノからバスでフィレンツェへ（3時間）

〈ランチ〉 Le Botteghe Di Donatello

平打ちパスタにイノシシ肉とトマトソースを加えた一品と、キアナ牛の400グラムのTポーンステーキ。ステーキは意外とあっさりしており、ペロリと完食してしまいました。



パッパラデッレ・アル・チンギアーレ

ビステカ・アッラ・フィオレンティーナ

ズコット

〈午 後〉フィレンツェ市内観光

(サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂, シニョーリア広場,
メルカート・ヌオーヴォ, ポンテ・ヴェッキオ, ウフィツィ美術館)

赤いクーポラが特徴のサンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂は、本当に美しかったです。世界三大美術館のウフィツィ美術館では、ルネサンスの三大巨匠作品、そしてボッティチェリの傑作「ヴィーナスの誕生」を鑑賞しました。美術の教科書でしか見たことのなかった建造物や作品を、実際に見ることができ、感動・感激の嵐でした。



サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂



サン・ジョバンニ洗礼堂



シニョーリア広場



メルカート・ヌオーヴォ



ポンテ・ヴェッキオ



ウフィツィ美術館



レオナルド・ダ・ヴィンチ
「受胎告知」



ミケランジェロ
「トンド・ドーニ」



ラファエロ
「ヒワの聖母」



ボッティチェリ
「ヴィーナスの誕生」

〈ディナー〉 Trattoria dall' Oste

モチモチのペンネにピリ辛のソースは、食欲をそそり、あっという間に完食。本場のティラミスは甘く滑らかでボリュームたっぷりです、とても満足しました。



ペンネ・アラビアータ



ローステッド・チキン



ティラミス



【2月6日（木）】午前：フィレンツェ市内各科での研修
午後：ローマへ移動

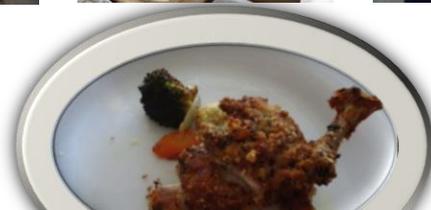
〈午 前〉フィレンツェ 各科で研修

調理科「Lucca ルッカイタリア料理学院」

トスカーナ料理講習会のジャンルーカ先生は、日本でイタリアンシェフとして活躍されていたこともあり、日本語も交えながら丁寧に、またフレンドリーに教えてくださいました。トスカーナ料理は、シンプルな素材を豪快に調理している事が特徴です。最後に修了証を一人ずついただきました。



アーティチョークと
リコッタチーズの
パートフィロの包み焼き



鶏もも肉のセージと
クルミのパン粉焼き



栗のチョコレートケーキ

生活教養科「IL Papiro (マーブル紙製作)」

13世紀に考案されたマーブル紙の技法を守り続けている「イル・パピロ」でマーブル紙の制作体験をしました。マーブル紙は墨流しの技法で作られた装飾紙です。マーブルとは大理石のことで、その模様似ていることからこの名前がつけました。



音楽科「アカデミア・エウロペア・ディ・フィレンツェ 音楽学校訪問」

音楽には欠かせないイタリア語の授業と、声楽科とピアノ科の代表生徒が声楽のレッスンを受けました。



〈ランチ〉 Lorenzo de Medici

イタリアに来て、初めてのラザニアです。お肉たっぷりでもとてもおいしかったです。デザートの特ルタ・デッラ・ノンナは、おばあちゃんのケーキという意味、カスタードクリームがたっぷり挟んであり、優しい味でした。



ラザニア

ポークロイン

トルタ・デッラ・ノンナ

〈午 後〉フィレンツェからユーロスターでローマへ（2時間）

〈 夜 〉ローマ

音楽科「サンパオロ・レ・ムーラ教会でオペラのガラコンサートの鑑賞」

演目は「椿姫」でした。日本ではあまり経験することのできない教会でのコンサートは、石造りの教会全体に響き渡る声や楽器の音色がとても美しかったです。



【2月7日（金）】午前：ローマ 各科での研修 午後：パチカン市国

〈午 前〉ローマ 各科で研修

調理科「Scoglio di Friesio (スコーリオ・ディ・フリージオ)」

ナポリ料理の代表のピザを生地から一人ひとり作りました。思うように生地が広がらず、トッピングも時間との勝負で色々大変でしたが、焼きあがったピザの味はもちろん最高でした！最後に修了証を一人ずついただきました。



生活教養科 「Explora (ローマ子供博物館)」

サイエンスを子どもの視点で面白く理解できる体験展示をされていて、消防車の放水体験など楽しみながら勉強できる博物館でした。



音楽科「オペラ座ガイドングツアー」

絢爛豪華な装飾の伝統ある劇場でした。普段入ることのできない貴賓室も見学できました。貴賓室の華やかさとそこからの眺めにとっても感動しました。現在は各国の王族や大統領が利用するそうです。



音楽科「サンタ・チェチーリア音楽院」

1869年設立の大変伝統あるイタリア国立音楽院です。声楽、器楽に分かれてレッスンを見学しました。きめ細かいレッスンを聴講しとても勉強になりました。ホールでは、パイプオルガンのレッスン中で日本ではあまり見られないので、貴重な時間を過ごすことができました。



〈ランチ〉 Grotta Azzurra

本場のピッツァをいただきました。マルゲリータや生ハムとアンチョビのピザなど数種類オーダーし、皆でシェアしました。ジューシーでとても美味しかったです。



サルティンボッカ・ローマンスタイル

ピッツァ

ミモザケーキ

〈午 後〉バチカン市国（サンピエトロ大聖堂）

大聖堂内にミケランジェロ作「ピエタ像」、奥にベルニーニ作の大天蓋（パルダッキーノ）です！
この巨大なブロンズ製の天蓋の真下には、聖ペトロの墓があります。



サンピエトロ大聖堂



ミケランジェロ
「ピエタ像」



ベルニーニ
「大天蓋」

〈ディナー〉Ristorante La Carovana

カンツォーネを聞きながらの食事です。イタリアのなじみのある歌や日本の歌も歌っていただき大変盛り上がりました。カンツォーネを聞きながらの料理もとてもおいしくて大満足でした。



ペンネ・アラビアータ
ベジタブル・リゾット



サルティンボッカ・
ローマンスタイル

【2月8日（土）】午前：ローマ市内観光

午後：フィウミチーノ空港→日本へ出発

〈午 前〉ローマ市内観光（コロッセオ，トレビの泉，真実の口）

コロッセオは車窓からでした。トレビの泉では、みんなでまたローマに戻ってこられるように願いながらコインを投げ入れました。真実の口ではみな無事に手は抜けました。



コロッセオ（車窓から）



トレビの泉



真実の口

〈午 後〉フィウミチーノ空港→日本へ出発

イタリアにまだ居たいと、後ろ髪をひかれながら 12 時にはフィウミチーノ空港に着き、13 時 35 分予定通りにイタリアを発ち、翌 2 月 9 日、羽田空港から学校に無事戻りました。

【研修旅行を終えて】

イタリア研修旅行に参加するにあたり、私たちはそれぞれの専門分野において、また訪れる予定の美術館の絵画や世界遺産の建築物についても各自が事前に学習していききました。

実際にイタリアに行ってみて、本場の料理の香りや味付け、生地質感やデザイン、建物に響き渡る音色や歌声が「なぜ生まれてきたのか」それぞれの研修を受けていく中で分ったことがたくさんありました。またイタリアでは、その料理、ファッション、音楽に誇りを持って、現在までの長い間、守り引き継ぎながらも進化していること、そしてそれが生活の中に浸透していることを、短い期間ですが実感しました。

その場所に行かないと見られない世界遺産や絵画、建築物などの本物を自分の目で見ることができ、事前にテレビやガイドブックで見ていたものとは違い、スケールの大きさや迫力、色彩の豊かさなど圧倒され言葉も出ないくらい感動しました。そしてその場所にいることで歴史の流れを肌で感じることができました。

今回様々な研修を受け、美術館の絵画や世界遺産の建築物を見て、本物を自分の五感で感じることでイタリアの文化を理解できたことと同時に、日本の文化を改めて考えることができたことに研修旅行の意義を感じることができました。